

高校生のライフスタイルと被服行動に関する調査研究（第1報）
 高校生のライフスタイル特性について
 奈良女大家政 中川早苗 岐阜女大家政 大喜多佐代子
 県立会津短大 ○松浦悠紀子 文化女大家政 万江八重子

目的 社会や生活のしくみ、価値観が著しく変化している今日、高校の家庭科においても男女共学をふまえて教育内容の見直しが進められている。本研究は、高校における被服教育の内容を検討する手掛かりを得るために、高校生のライフスタイルと被服行動の特性およびその関連について明らかにしようとするものである。本報では、高校生が日常生活のなかでどのようなことに興味や関心をもち、どのような考え方や生活のしかたをしているのか、などについて調査を行い、その特性を検討した。

方法 高校生 711名（男子 365名、女子 346名）を対象に昭和62年11月～12月、配票留置法および集合調査法によるアンケート調査を実施した。主な調査項目は、基本属性（性別、年齢、所属学校、学年、居住形態、出身地）、ライフスタイル特性（生きがい、日常関心事、余暇行動、生活態度、個室の有無、所持品、1ヶ月の小遣い、小遣いの使途、生活満足度）である。データの集計、分析には、単純集計、クロス集計、数量化Ⅲ類、クラスター分析の手法を用いた。

結果 単純集計、クロス集計の結果から高校生のライフスタイル特性をみると男女共に趣味やスポーツ、レジャーに打ちこんでいる時に最も生きがいを感じ、音楽や異性、恋人服装やおしゃれに関心が高く、生活態度でも新しいものをとり入れいろんな体験をしたい趣味にお金をかけたい、変化に富んだ生活がしたい、人から注目されるようなことをしたいなど若者特有の傾向が明らかになった。ライフスタイル特性への反応パターンをもとに数量化Ⅲ類、クラスター分析を行った結果、4つのタイプに分類することができた。